

高旗健次

ヴァイオリンリサイタル

ピアノ：垣内敦

Klavier : Atsushi KAKIUCHI

2017年10月14日(土)

14:30 開演

(14:00 開場)

高旗健次

ヴァイオリンリサイタル

ヴァイオリン：

高旗 健次

(Violin:Kenji TAKAHATA)

広島大学卒業後、同大学大学院博士課程前期修了。ドイツ国立カールスルーエ音楽大学大学院芸術家養成課程修了後、同大学大学院国家演奏家試験課程ソリスト科に進学、「ドイツ国家演奏家資格」を取得修了。

第31回北九州芸術祭に出演。文科省長期在外派遣研究員(ドイツ)1年間。広島大学大学院教育学研究科海外派遣研修員(ドイツ)。

ドイツでのリサイタルでは「楽曲における細部へのこだわりと内容豊かな全体構成力」、またオーケストラとの共演では「表現力の非常に高い巨匠的名演奏」との評価を得る(いずれもドイツ・バーデン新報紙)。ドイツ在住中には、ドイツ国内はもとより、クロアチア(ザグレブ)やボスニア・ヘルツェゴビナ(サラエボ)でも演奏を行う。

帰国後は定期的にソロリサイタルを開催のほか、ドイツ国立カールスルーエ音楽大学教授でヴァイオリニストのN. エアリッヒ氏とのジョイントリサイタル、東京音楽大学教授でチェリストのD. フェイギン氏との室内楽リサイタル、オーケストラとの共演、ゲストコンサートマスター、「ちかしアンサンブル」メンバーとして演奏会に出演、またT.I. ミュージックアソシエイツ主催のグランドコンサートメンバー(トッパンホール・東京)として演奏会に出演するなど、全国各地で意欲的な活動を行う。

ドイツ・バーデン州立歌劇場オーケストラヴァイオリン奏者、島根大学助教授(教育学部音楽教育講座)、広島大学大学院准教授(教育学研究科音楽文化教育学講座)を経て、2017年4月より広島大学大学院教授(教育学研究科音楽文化教育学講座)。岡山フィルハーモニック管弦楽団嘱託団員。

市原利彦、故田中千香士、N. エアリッヒの各氏に師事。室内楽をW.J. ヤーン氏に師事。

ピアノ：

垣内 敦

(Piano:Atsushi KAKIUCHI)



桐朋学園高校音楽科を経て、桐朋学園大学音楽学部を卒業。その後ライプツィヒ音楽大学(ドイツ)および大学院を最優秀で卒業。

1997年にフランス・リスト国際ピアノコンクール(ワイマール)にてファイナリストとして名誉ディプロムを、1998年には第44回マリア・カナルス国際音楽コンクール(バルセロナ)にて特別メダルを受賞。

ドイツ各地でソロリサイタル、室内楽ならびにオーケストラとの共演等の活動を行う。帰国後、王子ホール、東京文化会館、津田ホールにて6回にわたり東京での自主リサイタルを開催のほか、毎年夏にはイタリアでの「ローマの夏音楽祭」に出演、また、フルートのアンドレアス・ブラウ氏やデニス・ブリアコフ氏、チェロのフランツ・バルトロメイ氏など内外の著名な音楽家の共演者としても信頼を置かれるなど、ソロ・室内楽両分野において国内外で精力的に演奏活動を行っている。

これまでに桐朋学園大学伴奏員、同大学附属「子供のための音楽教室」講師、昭和音楽大学伴奏講師を経て、現在はエリザベト音楽大学准教授ならびに桐朋学園大学音楽学部非常勤講師を務め、後進の指導にもあたっている。

これまでに、太田敬子、西江恵子、村上弦一郎、小森谷泉、ゲアハルト・エルバーの各氏に師事。